

外部評価 様式

令和5年度 城東小学校 外部評価 記入用紙	
評価委員：加藤一男委員、清水貞男委員、千葉家門委員、江口雅子委員、流川貴史委員、 小村眞理委員、劔持隆委員	
報告書作成者：流川貴史委員	
評価時期	令和6年2月
1 重点目標の評価	
重点目標1「確かな学力の向上」について	
・近隣の企業と連携するなど授業を工夫しているようだ。卒業生を講師にした茶道教室はよいことだ。以前は料理教室なども行っていた。地域の人材を活用した教育活動を期待している。	
・理数教育パイロット校として、様々な取組をどう位置付けていくかが課題である。	
重点目標2「心豊かな子どもの育成」について	
・子どもたちの様子を、学校公開など保護者が積極的に見に来ると、子どもの様子が分かる。心配事がなくても学校の様子を見に来るとよい。	
・子どもたちは、悩みがあるとき、先生より同学年の友達に相談するのではないか。アンケート結果は妥当である。	
・これから小規模校から中規模校に変わる時期であるが、これまで培ってきた上級生が下級生を慈しむ縦割班などの交流を大切にして、伝統を受け継いでいくことを期待している。	
・子どもたちが大きな声で挨拶することは、積み重ねが大切である。継続した指導が必要である。	
重点目標3「健康・安全教育の充実」について	
・感染症の影響を受けずに教育活動が行われるようになったのはよかった。学級閉鎖など他校であるようだが、大きく体調を崩す子どもが少ないので安心した。	
・再開発の工事現場で崩落事故があった所は、通学路でもあり、巻き込まれないでよかった。安全に登下校できることが望まれる。地域、保護者の協力が必要である。	
・地域の行事を通して、子どもたちの元気な様子を見ることができる。地域行事に参加することを通して、特認校で入学した他地域の児童と保護者、地域との交流・ふれあいが一層深まり、続いていくとよい。	
2 今後の改善に向けた意見	
・東京ミッドタウン八重洲に位置する学校として、新しい環境を活かすとともに、不易と流行を考えた教育活動の精査が必要になってくる。教員の働き方改革にも目を向けて、検討すること大切である。	
3 その他の意見	
・登校時間以外で学校を出入りしている児童と保護者を見かける。不登校傾向なのか心配だが、適切な対応を継続してほしい。	

* 各学校のホームページで公表していきます。